

学年	コース	教科	科目	類型	必・選	単位数
3	クリエイティブ フロンティア	地理歴史	地歴演習 世界史	文系Ⅱ	選択	2

講座のねらい

3年次の地歴演習・世界史では、主に、解説付きの問題集を使用し、問題集を活用することで、原始・古代から現代までの歴史を、系統的に理解していきます。古代の奴隷制社会、中世の封建制（農奴制）社会、（近世）近代の市民（ブルジョワジー）社会、現代の市民大衆社会の到来といった、各歴史区分をしっかりと捉えること、かつ歴史の縦軸を大づかみに把握したうえで、各時代の、おのこの地域、それぞれの文化圏における社会のあり方、その時代の推移、王朝の変遷、歴史的イベントなどを、横軸を踏まえて理解していきます。こうすることで、世界史の細かい用語まで記憶し、入試問題とその傾向に対応し、世界史における全時代と、世界的視野を伴った地理的理解の達成を目指していきます。

使用教材及び問題集

教科書 『世界史B』（東京書籍）
 資料集 『最新世界史図説 タペストリー』（帝国書院）
 学習ノート 『要点マスター世界史B 整理ノート』（東京書籍）
 問題集 『進研 WINSTEP 世界史B(改訂版)』（ベネッセ）

授業の内容と進め方

教科書の記述に沿って授業を進めていきます。授業を補完したり発展的に進めるために資料集を使用します。いくつかの項目については、プリントや視聴覚教材などを用い、興味、関心がわくよう工夫します。

定期考査や校外模試（実力考査）の対策として、小テストや問題演習を行い、用語理解の定着をはかります。入試に備え、1・2年次に学習したことも併せて、復習を繰り返すことが肝要であり、そうしたことも考慮します。

講座の到達目標

- 1、歴史の知識を多く獲得することで、社会に対して関心を広げ、また高め、そして深く考えることで、生徒の将来に有為となるようします。
- 2、間近に迫る大学入試や自身の目標に対して、到達しうる知識を身につけ、そうしたことへの意欲を高めます。

評価の観点・テスト・課題など

評価は、定期考査の得点を主資料とし、授業態度、課題などの提出物、小テストなどで総合的に行います。ノート提出や小テストは適宜行います。定期考査は、使用する問題集を中心に授業で学習した内容を出題します。入試を念頭においた発展的内容や入試問題も出題することがあります。

日々の努力が入試の場面で力を発揮します。定期考査では高得点をめざしてがんばってほしいと思います。

備考

講習では、1年を通じた平常講習と、夏期講習、冬のセンター講習などを予定しています。

授業の計画

1 学期 学習計画および学習内容

- 1 古代の世界
- 2 前2世紀の世界
- 3 2世紀の世界
- 4 5～6世紀の世界
- 5 8世紀の世界
- 6 11世紀の世界
- 7 13世紀の世界
- 8 14～15世紀の世界
- 9 16世紀の世界
- 10 17世紀の世界
- 11 18世紀の世界

2 学期 学習計画および学習内容

- 12 19世紀前半の世界
- 13 19世紀半ばの世界
- 14 19世紀末の世界
- 15 1910年代の世界
- 16 1930年代の世界
- 17 1950年代の世界
- 18 スペシャル 内陸アジア世界
- 19 スペシャル ロシアの領土拡大
- 20 スペシャル 覇権国家の移り変わり

3 学期 学習計画および学習内容